



ご挨拶

― 母校の創立百周年を迎えるに当たって
歴史と伝統を大切に更なる飛躍を ―



同窓会長
渡辺 惇夫

猛暑が続いた夏も終わりを告げ、秋の気配の深まりを感じられる頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には、日々ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに、母校の更なる発展向上のために温かいご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、お陰様でその存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいておりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に、同窓会員皆様の変わらぬ母校愛と日頃のご協力の賜物であるとともに、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があったることであり、ここに改めて深く敬意を表し感謝の意を表する次第であります。

さて、ご承知のように我が母校は大正十年の創立以来、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねながら今日に至り、三年後の平成三十三年には記念すべき創立百周年という大きな節目を迎えることとなります。

そこで、去る六月二十五日にこの周年記念を大きく意義あるものとして位置づけるとともに、将来の明訓高校の発展に繋がる事業展開を実施するために「創立百周年記念事業実行委員会」を学校ご当局、保護者会と同窓会三者合同で立ち上げました。我が同窓会としましては

発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇夫

- ### 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助

この周年事業の推進と成功のために今後とも勇往邁進していかねければなりません。

そしてまた、ご承知のように新潟明訓中学校も今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設され十二年目を迎え、高校と相協力し、中高一貫教育の二翼を担い、より幅広い人材教育の実現に取り組み努力するとともに、卒業生の難関大学への入学にも果敢に挑戦し、着実に合格実績を挙げております。

更にまた部活動等に於いても、運動部、文化部共に県内各種大会は勿論、全国規模の大会に於いても大活躍しております。

我が同窓会としましては、今後ともこれらの母校の大活躍に相応しい体質の強化と組織の拡充発展が求められており、それにむけて努力しておるところであります。幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を更に知っていただくとともに多くの関心を持つていただき、互いに同志的意識を高め、協力体制を確立することにより母校の発展に資するとともに、尚層の同窓会

味のある人間



理事長
伴 昭彦

同窓会員の皆様にはお元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。お陰様で中学校高等学校共順調に伸びております。一方世間を見れば現代人は知的面では確かに昔の人々よりは多くのものを持つています。しかし、情的面とか信仰面などでは昔に劣るものがあり、情的活動を主体とする人間の味という面で見ても昔のような豊かな人間は少なくなっているように思います。味の

の活性化と発展に繋げていかなくてはなりません。今後共、同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。

最後に母校のますますのご発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

ある人間とはどういう人間かと考えてみますと、起居動作や喜怒哀楽などのものの感じ方や見方が奥床しく、自分のことより相手や隣人への温かい心配りがあつて、何となく人々の心を引きつけるような人であろうと思われまふ。一体どうしたらそこまでの境地に達することができるのでしょうか。

京都大学総長をお勤めになった平澤興先生は、味のある人間たるに

最も必要なことの一つは色々な困難や失敗にあってもこれをのりこえ、酸いも甘いも人生の諸相と知りそうした知恵を経験で人々の苦勞や失敗に心からの同情と理解ができ、人々の力になれる生き方のように思われる、と言っておられます。

知情意のうちで人間の味に最も重要なものは恐らく情的面と考えられます。道徳、信仰、芸術などは何れも主として情的活動ですが、これが現代では知に押されて弱くなっているように見えます。この面から人間の味を見ても昔見られたような味な人間は少なくなっていると思われます。それだけ社会全体としてみれば豊かな味のある人間の存在が望まれます。昭和五十五・六年頃行なわれたボストンマラソンでロージー・ルイズという婦人が優勝したが、コースの中間地点で姿を見た人がいなかったという事で賞を取り消されたことがあります。ところがその後、このルイズさんをたたえるキセル公認のマラソンが企画されたということだそうです。

ですからアメリカは愉快な国です。参加者は全長十キロメートルのコースのうち、ゴール直前の二十六・二メートルを走ればよく、参加費は全額ガン協会へ寄附されるといふ話でした。情的面での味のある話です。エイプリルフールでロンドンの有名な国会議事堂の時計塔ビッグベンがデジタルになるといふニュースが流れたところ、これはけしからんという抗議が多数寄せられたのですが、その中で日本人が一番多かったという話があります。知的面が強くなりすぎるのは淋しくなることもありますね。ただ、人間の精神生活は複雑で、人間の味は情的面のみならず、知的面も意志面も関係すれば更に味のある要素を加えて豊かな味が生まれてくるでしょう。味のある人間の存在を考えてみると、人間の全体の中でどういう人がどういふことから味のある人間になるのか、その逆になるのか不思議です。味のある人は貴重な存在ですね。味のある人間になりたいものです。

ご挨拶



中学校長
中山道夫

中山道夫

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格段のご理解とご協力を賜っておりますことにまづもって感謝申し上げます。

平成三十年度の新潟明訓は四月五日の始業式を経て、翌六日には高等学校三七二名、中学校一二三名の入学を許可し、高校一、一六八名、中学校三四九名、生徒総数一、五一七名でスタートを切りました。これまでのところ学習面、部活動の状況等について、おおむね順調に推移していると捉えています。

さて、別途報告させていただきますように、今春の進路状況は北海道大学や東北大学、京都大学などの国公立大学、新潟大学や自治医科大学などの

医学部医学科、早稲田大学や慶應義塾大学をはじめとする難関私立大学にも多数の合格者を出しています。さらには、二十四倍の難関を突破し、宝塚音楽学校に合格した生徒も出るなど、進路状況にも新潟明訓の持つ多様性が表れたのではないかと感じているところであります。

申し上げるまでもなく、本校では、学校経営方針の一つとして、二つの文武両道を掲げています。新潟明訓らしく、生徒一人一人はもちろん、学校としても、高いレベルの文と武(教科の学習とそれ以外の諸活動)を追求していくということですが、武の部分においても、今夏、陸上競技部、サッカー部、剣道部、写真部、文芸部、放送部と多くの部活動が全国総合体育大会や全国高校総合文化祭に駒を進め、明訓生としての頑張りを見せてくれました。

さらに、ダンス部は毎年、神戸市で開催される全国高校・大学ダンスフェスティバルの、吹奏楽部も西関東大会の常連校として、高い評価を受けています。

このような取組を反映してか、七月と九月に、中学校、高校でそれぞれ二回ずつ実施したオープンスクールには、中学校が七百人弱、高校が千五百人弱と、これまでを大きく

上回る参加者がありました。新潟明訓に寄せられる関心の高さ、評価の高さを示す数字であると思います。

本校は、三年後に創立百周年を迎えることになりました。これまで何度か実行委員会が開催され、記念事業の内容等も固まりつつあります。

学校といたしましても、創立百周年を節目の年と捉え、これまでの築き上げてきた新潟明訓の伝統を踏まえつつ、各方面で次代を担っていくような人材を育むべく学校運営に取り組んでまいりたいと考えています。

そのためにも、同窓会員の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、職員一同、一丸となって日々の教育活動に取り組んでいく所存であります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

首都圏新潟明訓会

設立30周年記念

総会・懇親パーティー開催

首都圏新潟明訓会設立30周年記念総会・懇親パーティーが平成29年11月18日(土)正午より「ロイヤルパークホテル」20階 ballroom で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、関西新潟明訓会からは本間会長が出席。母校からは中山校長

と渡邊教頭が出席され、総勢70名での開催となりました。

総会での役員改選において、秋葉会長が引き続き平成29、30年度の会長を務める事になりました。来賓のご祝辞では、中山道夫校長から文武ともに躍進を続ける母校の近況

報告をいただき、渾一恵顧問の乾杯で懇親パーティーがスタートしました。暫し歓談の後、今年は遠路、福岡県から駆けつけていただいた熊倉由美さんのジャズタイム、恒例の福引き、校歌斉唱と、楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。

首都圏新潟明訓会は設立30周年を迎えました。設立当初のメンバーの皆様も、現在、運営の中心を担っておられる皆様も大半が還暦を過ぎておられます。

本校同窓会に限らず、

他校同窓会においても次世代への継承には苦慮されているように聞こえます。首都圏には毎年数多くの卒業生が進学して来ていますので、現役大学生も含めた平成卒業年代の会員拡大が今後の大命題となる事は間違いないところだと思います。

首都圏にお住いの同窓生・学生の皆様、是非一度、首都圏新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。連絡先

(事務局) 奥田まゆ子
090-8487-8797

関西新潟明訓会

平成29年懇親パーティー開催

関西新潟明訓会平成29年懇親パーティーは平成29年10月14日(土)午後1時より大阪駅直結の「ホテルグランヴィア大阪」21階で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏新潟明訓会からは皆川副会長が

出席。母校からは関西新潟明訓会初参加となった中山校長と同窓会本部の副会長でもある渡邊教頭が出席され総勢21名での開催となりました。

会では出席者全員の記念撮影からスタートして、本間会長の開会挨拶、来賓

紹介と進み、中山道夫校長からはご祝辞と母校の近況報告をいただき、新潟からのお土産として明訓中学校の生徒が育てた「明訓米」を参加者全員に頂戴しました。その後、安城顧問の乾杯のご発声で懇親会がスタートして、1年振りや、久々の再開にグラスを交わし近況等を語り合い、恒例となった新潟県産品のビンゴゲーム、校歌斉唱と、あっという間の2時間半となりました。

昨年参加の大学生2名は都合が合わず残念ながら欠席となりましたが、会員の拡大には今後とも関西圏の大学に進学して来る同窓生にはアプローチを継続して行う事としていきます。

関西圏にお住いの同窓生・学生の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。連絡先

(事務局) 阿部邦義
090-5902-2993



出席者全員で記念撮影



出席者全員で記念撮影

明訓高等学校より報告 グローバル教育の取り組み

MeGA 2

エンパワーメントプログラム

今年で6回目となる

MeGA 2 (Meikun Global Activity 2) を、7月23日から27日までの5日間、明訓高校で行いました。中高一貫生97名と高入生68名の合計165名の高校1年生が参加し、国内外の大学から招聘された外国人大学生・大学院生32名を合わせた、計197名という最大規模での実施となりました。

本プログラムでは、英語による講義や大学生とのディスカッションを通じて、生徒が多様なものの考え方を知り、視野を広げ、自分の



エンパワーメントプログラムの様子

考えを隠することなく伝えられるようになることを期待しています。プログラム初日には緊張した表情を浮かべていた生徒も、グループ内で助け合いながら、次第に自分の考えを伝えられる場面が増えていきました。

最終日には、生徒一人一人が、自分の夢や5日間で学んだことについて英語

で堂々とプレゼンテーションを行いました。こうした経験は、生徒自身が自分の将来を考えるきっかけになるはずです。また、この5日間だけで英語力が急に身につくわけではありませんが、英語で相手の考えを理解して

自分の考えを伝えるという密度の濃い時間を経験することで、これからの英語の学習に向かう姿勢に変化が生まれることを期待しています。プログラムの今後の成長と活躍がとても楽しみです。

MeGA 3

コース選択型海外研修

Meikun Global Activity の 3 は、Overseas training (海外研修) として、平成27年度より現行のコース選択型の形式となりました。3回目の実施となる

今回は、平成30年の3月3日から約10日間の日程で行われ、高校1年の一貫生113名全員と、高入生の希望者46名の総勢159名での参加となりました。研修先として、①



①ボストン・ニューヨークコース



②サンフランシスココース



③シカゴ・ボストンコース

ボストン・ニューヨークコース、②サンフランシスココース、③シカゴ・ボストンコース、④カナダコース、⑤オーストラリアコース、⑥東南アジアコース(シンガポール・マレーシア・ブルネイ)の6コースに分かれて、各地域や都市の特色を生かした学びを得てきました。現地での貴重な時間や機会をフル活用するべく、10月から事前学習を始め、週1回のグループワークを並行して行うことで、研修先に対する興味・関心を育ててきました。また、現地の文化や歴史、特徴を調べてプレゼンテーションす



④カナダコース

るという活動は、仲間意識や連帯感を養い、全員で乗り越え、成長するということ意識を共有することにつながったのだと思います。

現代社会は、ボーダレスに人・モノ・情報が高速で行き交う未曾有の時代です。日本という、良くも悪くも Comfort Zone (自分にとって居心地の良い環境) から外に出て、グローバルな社会を目の当たりにするということは本校のグローバル教育における主眼となる内容です。ステイプ・ジョブズは、「旅の過程にこそ価値がある」と言いました。快適な日本から

あえて飛び出し、日本では感じることもない言葉の不自由さや、不便さ、緊張感に苦勞しながら、それを受容し、適応し、成長する。多大な経済的負担や、時間、労力をかけてでも海外研修を行うことの意義は、そうした過程にこそあるのです。様々なアクシデントを乗り越えながら、生徒たちはよく協力し、努力し、大いに刺激を受けながら研修を進めることができました。帰国後も、報告書に自身の経験をまとめ、来年度の参加予定者に対して申し送りを作成するなど、最



⑤ オーストラリアコース

後まで自主性を刺激しながらの研修が行えたと思っています。

MeGA 3は、このコースにもそれぞれの特徴がありますが、そこに共通するのは、「世界で活躍し、社会に貢献できる人間になる」べく、「知見を広げ、異文化を理解し積極的に交流する姿勢を身につける」ことです。私たちは、一步日本から出れば、他国において外国人になつてしまします。そして、そこでは自発的に意志のやり取りをしようとしなければ他国の人は相手にしてくれないという現実が



⑥ 東南アジアコース

ります。これは頭で理解することではなく、自らの肌で感じ、心で悟るべきことです。MeGA 3に参加した彼らがこの経験

平成30年度中学校トレッキング

秋の野外活動

10月12日(金)、グローバル教育の一環として、中学各学年に分かれて「秋の野外活動」に出かけてきました。この行事は、「明訓の歴史を探る、新潟県を探索する」ことを目標として行われています。

あいにく、前日までの雨の影響で、第二学年は雨天コースでの実施となりました。

第一学年は、弥彦明訓校の碑の前で立志式を行い、その後、弥彦山登山は行わず、新潟県立歴史博物館の見学を行いました。

第二学年は、降雨の中でしたが、予定通り、川岸町跡地から現在の北山校舎への道のりを自分の足でたどりまし

験を糧に、さらに努力を重ね、成長し、有為な人間へと成長してくれることを願っています。



た。

第三学年は、五頭山登山は行わず、会津方面へ出かけ、福島県立博物館と鶴ヶ城を見学しました。

どの学年も、歴史に思いを馳せる、学びのある一日となりました。

明訓中学校より報告 田植えと稲刈り実施



稲刈りを終えて全員集合

田植えでは、例年のことですが、やはり泥の感触や冷たさに歓声とも悲鳴ともつかない大きな声がいちる所から上がり、この季節の明訓の風物詩になつてきたことを感じました。

稲刈りで、当日は晴天でしたが、前日までの降雨により泥沼状態の田んぼでの作業となりました。例年になく困難な状況での稲刈りとなりましたが、バツヤやカエル、ネズミも応援にかけつけ、植えた稲の成長を実感しながら楽しく稲刈りをすることができました。

学校教育田での活動は、今年で5年目を迎えました。

今年は5月22日に田植え、9月18日に稲刈りが行われました。田植えは中学1・2年生が、稲刈りは中学1・3年生が担当しました。

学 校 高 案 内

過去5年間の合格者推移

国公立大学	2014		2015		2016		2017		2018	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
北海道	3	2	3		7	2	2	1	4	4
東北	13		2		8		1		3	
山形	4	1	2	1	4	2	2		8	
福島	1		4		1				1	
筑波	4	2	4	1	5	1	2		3	
埼玉	7	1	2		6		2	1	1	
千葉	4		1		4	1	2	1	1	
お茶の水			1						1	
電気通信			1	1	3		2	1	1	1
東京	1		2	1	1	1				
東京学芸			3		2	1	2	1	1	
東京外国語		1	1	1	1		5		3	
東京工業			1		1		1			
一橋	2									
横浜国立	1	1	2		4		2		2	1
新潟	54	7	58	5	67	9	33	17	44	10
長岡技術科学	1		1		1		1		1	
上越教育	1	1			1	1		1		
富山	2		2				1	1	2	
金沢	3		4		2		1	1	3	
信州	3		2	1	3	1		1	3	1
名古屋			1		1		2			
京都	1		1				1		1	
大阪	2				1		2			
九州					1					
高崎経済	7		8		3				3	1
首都大東京	2	2	1	1	2				1	
横浜市立			1		1	1	1		2	
新潟県立	36	2	21	1	24	1	15	3	15	2
新潟県立看護	2	2	3		2		3		2	
その他	38	5	16	4	33	1	25	4	20	8
小計	192	27	148	17	189	22	106	35	124	30
国公立合計	219		165		211		141		154	

私立大学	2014		2015		2016		2017		2018	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科					2				1	1
早稲田	9	2	8	3	8	4	10	3	4	7
慶応	9		2		9	1	2	1	3	
上智	3	3					3	3		
東京理科	12	1	6	3	5	2	11	7	6	14
明治	23	2	11	4	12	1	12	5	10	1
立教	8	5	4		7	1	5	2	8	3
青山学院	11	1	6		9	2	6	2	6	1
中央	24	6	17	7	27	10	21	7	13	2
法政	28	9	17	8	12	1	22	3	16	1
学習院	1		4	1	5		5	2	4	
東京農業	5	1	5	5	7		2	1	7	1
津田塾					2		6		2	
国際基督教	1	1	1				1		1	
北里	4	1	1	2	2		1	1	5	
芝浦工業	9	5	5		6	1	11	3	3	9
成蹊	5	3	4	1	2		2		3	1
成城	2	1	4	1	2	1	2	1	6	
日本	33	14	40	9	29	9	27	3	26	15
東洋	19	3	21	3	28	5	23	5	25	6
駒沢	16	4	22	3	15	2	14	2	12	8
専修	24	5	12	9	16	3	16	4	18	2
明治学院	6	5	11	3	7		5	2	8	
獨協	4	2	10	1	4		2		9	1
神奈川	16	3	13	3	11	1	8	2	6	1
新潟薬科	21	2	5	7	19	1	13	3	11	1
同志社	9	2	8	3	4	2	4	1	7	5
立命館	11	7	14	7	11	1	3		5	5
関西	1	2	2	2	2		1		1	3
関西学院			3	1	2		3		2	1
その他	277	48	272	36	287	38	259	43	217	126
小計	591	138	528	122	552	86	500	106	445	126
私立合計	729		650		638		606		571	

進路指導部
大変健闘した入試結果
京大浪1名進学
医学科現浪8名進学

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
平成30年度大学入試センター試験は、科目により平均点のばらつきは多少あるものの全体的には昨年とほぼ同じ平均点になりました。国立型900点満点の平均は、文系では2点ダウンの554点に、理系では

2点アップの564点となり、文系、理系ともほぼ昨年並みの平均点となりました。
国公立大学入試は、2次試験出願数が46.6万人と一昨年は0.5万人減となり、志願倍率4.6倍となりました。

私立大学入試は、一般入試の志願者数が前年より約7%増加しました。
本校の入試状況
本校のセンター試験の結果は、文系では596点、理系557点となりました。

国公立大学124名合格となりました。北海道大4、東北大3、筑波大3、新潟大学医学科2、早稲田大4、慶應大3、自治医科大学医学科1など難関大学合格者数も、コース問わず健闘しました。また、医学科は現浪合わせて国公立へ4名進学、私立へ4名進学しました。

生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前前の学習(予習、授業、復習)を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。
現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っています。

平成30年度 大学入試 (現役)	東京	京都	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	東工	一橋	筑波	難関大合計	国公立医学科	早稲田	慶應	私立医学科
合計			4	3						3	10	2	4	3	
I II IIIコース			1	1						3	5		1	3	
IVコース			3	2							5		3		1

体育祭

平成30年9月4日開催

9月4日(火)。本校では熱い決戦の日となりました。

折しも台風21号が迫る中で、開催自体が危ぶまれました。また、練習期間および当日にも、さまざまなハプニングにも見舞われました。練習

た。当日は台風接近と熱中症の懸念から、プログラムの縮小、順番の入れ替えなど、臨機応変な対応を迫られることが数多くありました。しかし、そんな状況でも、生徒たちは前向きに、体育祭を成功

期間の急な降りで生徒は濡れ。中学競技の「台風の目」では、棒が折れ、急遽塩ビ管を購入し、新たに棒を作成するなど、想定外のことが数多くありまし



選手宣誓



しては、ある程度の形ができつつあります。次年度以降は、もともと中学校と高校が一体となれるようなプログラムができるようになれば、さらなる素敵な体育祭となることでしょう。次年度以降も楽しみにです。



させようと動いてくれました。困難な状況の中でも楽しもうとする生徒の姿は、さすが「明訓生」と感じさせてくれました。

昨年度より行っている、中高合同で行う「応援歌」では、昨年以上に声が揃い、完成度が高いものとなりました。明訓の体育祭と

平成三十年度 明訓 祭

平成30年6月9日開催

今年度の明訓祭は6月9日(土)に開催さ

れました。多くのお客様にお越しいただき、大

きな盛り上がりを見せていました。

クラス表現では、高校は「教室作品」「教室演劇」「映画」「ステージ」「屋外アート」の五部門で、また中学校は「教室作品」「教室演劇」の部門で、各クラスが協力し合い発表を行いました。

今年の明訓祭のテーマは「文明開化」でした。このテーマには、明治期の「文明開化」をモチーフとして、3年後に百周年を迎える明訓に新しい風を取り入れ、さらに飛躍していこうという思いが込められています。

クラス表現では、参加者が作品を実際に体験して楽しむといった観客参加型の作品や、丁寧に時間をかけ工夫された展示物が多く発表されました。

また、前夜祭のリバティー・スクエアでは、高



明訓大賞 3年3組

度なダンスの技術や歌唱力を発揮し、目の前で繰り広げられる華やかなパフォーマンスに会場は大いに沸き上がりました。

ジョイントコンサートも行われ、明訓の伝統に加え、新しいものをどんどん創り出す明訓生の「無限の可能性」を今年もうかがい知ることができた素晴らしい明訓祭でした。

今年度の受賞クラスは次の通りです。

◎明訓大賞

三年三組

(教室演劇部門)

◎部門賞

・教室作品 三年六組

・教室演劇 三年三組

・映画 一年十組

・ステージ 三年八組

・屋外アート

◎奨励賞

三年十一組

◎大衆賞

二年四組
三年B組

◎CM賞

二年四組

◎中学明訓大賞

三年A組

(教室演劇部門)

国内学芸研修

10月9日(火)から

12日(金)まで、高校第2学年Ⅰ・Ⅱ類の国内学芸研修を実施しました。この研修は、本校の教育目標である「世界に向けての発進力を持ち、国家や地域社会に貢献できる人材を育成する」の実現に向け、生徒に貴重な経験をしてもらうことを目的に行われています。生徒たちは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科の余田拓郎教授から日本の企業体系を学ぶことから始まり、「らくたび」代表取締役の若村亮氏からは京都を「観る」術を知り、さらに「ビジ

ナリー・ジャパン」代表取締役社長の鎌田洋氏から夢を実現することやはたらくことについて学ぶことで、自らの進路実現につながるような能動的な学習をするための研修を行い、3泊4日の研修に臨みました。

奈良・京都の関西地区では、「らくたび」などの専門ガイドによるストーリー性のある解説によつて、単なる観光地巡りではなく、グローバル研修として日本人のルーツを考えるきっかけを掴むことができました。この経験が生徒たちのアイデンティティーの形成につながり、今後、世界を舞

台に活躍する際に、大きな助けとなると信じています。東京を中心とした関東地区では、キャリアデザイン研修として企業や省庁、研究施設等を訪問しました。今まではおぼろげながらもしか想像できなかった自身の将来像が、この研修を通して、その輪郭を明確にすることができたのではないかと感じています。

この4日間の研修は過去から現在、そして未来へという流れをイメージして組み立てています。奈良・京都にて我々の基礎をなす古の日本(過去)を再確認し、東京で企業等の訪問をし、現在の社会の仕組みや



社会に貢献すべく働く人々の姿を間近で学び、そして自身の未来像をより明確にすることができました。何より大切なのは、ここで考えた未来の姿を現実のものとして、今、能動的にかつ具体的に動き出すことです。今後は、生徒たちに変化する勇気を与え、力強く進んでいくよう背中を押してまいります。学年では考えてお

特別文化行事

6月4日(月)に今年の特別文化行事が行われました。1年に1回行われるもので、観劇・音楽・講演会のサイクルがあるのですが、今年は先日まで南極地域観測隊として南極に1年以上いらつしやうした鈴木裕子さんの講演会でした。鈴木さんは明訓の卒業生です。高校時代の話も混ぜて話をして下さり生徒にとっても聞きやすい話だったと思います。

高校時代、地域観測

ります。

普段の生活では得られない体験を通して、内容の濃い、充実した研修を行い、友人との良き関係を築くことができました。これからは「チーム明訓」として大学受験へ向かっていきます。今後もしもご支援をお願いいたします。

最後に同窓会の皆様にお願ひがあります。Ⅰ・Ⅱ類の研修では、生徒

自身が企業や団体等を調べて、アポイントを取っています。関東地区または関西地区で働く同窓会の皆様のお力をお借りできれば、大きな助けとなります。さらに同窓生のみなさに協力していただくことで、明訓への愛校心の醸成へとつながると考えます。お願いの際には、ご協力頂ければ幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

隊はおろか、南極そのものもあまり知らなかつたという鈴木さんが観測舞台として活躍されたことはとても素晴らしいこと

とだと思ひます。動画をたくさん持つてきてくださり、臨場感の伝わるものでした。特に「しらせ」という観測船が悪天候に見舞われながら突き進んでいく様子はやはり心に刺さるものがありました。



- 3・4位順位決定戦(10射)
新潟青陵③・3 新潟明訓
↓第4位入賞
- 《第69回長岡まつり協賛
県内弓道大会》 7/29
長岡市市民体育館弓道場
 - ・団体男子 優勝
五十嵐達己・山崎翔大・
多々良幸喜 24射15中
 - ・団体男子 第3位
杉村睦・吉岡優太・
雑賀郁実 24射
 - ・団体女子 第3位
和田莉奈・中村百代・
青木寛奈 24射11中
 - ・個人男子 第3位
多々良幸喜 8射6中
 - 第4位
 - ・吉岡優太 8射6中
 - 第5位
 - 風間俊哉 8射5中
- 《第39回北信越国民体育大会
8/25・26 新潟地域学園弓道場》
※少年女子の部・榎木智都子
が新潟県代表として出場
- 遠的競技 第4位
近的競技 第4位
総合順位 第4位
- 《第37回県下弓道水原大会
9/16 水原総合体育館弓道場》
 - ・団体男子 第3位
五十嵐達己・近藤旭・
雑賀郁実 24射14中
- 《第51回新潟県高等学校弓道大会
9/17 弥彦神社弓道場》
 - ・団体女子 第3位
青木寛奈・小林あゆみ・
渡邊史夏 24射12中
- ◎バドミントン部
《春季地区体育大会新潟地区
バドミントン大会》 5/4・5
巻総合高等学校
 - ・男子シングルス
ベスト16
石田侑都
 - ・女子ダブルス

- ベスト32
諸橋菜々香・神田姫花
女子シングルス
ベスト16
諸橋菜々香
- 《第71回新潟県高等学校総合体育大会》
男子バドミントン競技大会
5/25 長岡市民体育館
団体 ベスト32
- 《第71回新潟県高等学校総合体育大会》
女子バドミントン競技大会
6/1 リンジョンプラザ上越
団体 初回戦敗退
- 《新潟支部高校1、2年生大会》
7/15 亀田総合体育館
男子ダブルス
ベスト16
長谷川悠斗・音田弘輝
- 《新潟支部高校1、2年生大会》
(BC級) 大会
男子・8/21 亀田総合体育館
男子B級ダブルス
第3位 長谷川悠斗・音田弘輝
男子C級シングルス
第3位 廣瀬 憲
女子・8/22
優勝 神田姫花
- ◎テニス部
《全日本ジュニア選手権》
下越地区予選 4/15、16
新発田五十公野公園テニスコート
男子シングルス
第3位 伊藤 慧
第5位 遠藤拓郎
第6位 鈴木 凜
男子ダブルス
第3位 遠藤拓郎・渡邊 光
(以上の者は県大会出場決定)
女子ダブルス
ベスト8

- 小野千尋・田中綾乃
《春季下越地区テニス大会》 5/1、2
新発田五十公野公園テニスコート
男子ダブルス
ベスト8 遠藤・渡邊
男子シングルス
ベスト4 遠藤拓郎
ベスト16 鈴木・伊藤
(以上の者は県大会出場決定)
- 《平成30年度春季下越地区テニス大会》
5/1、2 胎内市 国際交流公園テニスコート
女子ダブルス
第2位 丸山明日香・松井沙樹
ベスト8 小野千尋・田中綾乃
女子シングルス
第2位 丸山明日香
ベスト16 松井沙樹・鈴木麻由子
田中綾乃
(以上の者は6月上旬に行われる、県大会に出場)
- 《新潟県高等学校総合体育大会テニス大会》
6/1、3 南魚沼市 大原運動公園テニスコート
男子団体戦
2回戦 vs 新潟南
2-1
3回戦 vs 新潟商業
2-0
準々決勝 vs 新潟第一
0-2
県ベスト8
男子ダブルス
2回戦敗退
遠藤・渡邊光組
2回戦敗退 瀧谷・川崎組
男子シングルス
3回戦敗退 遠藤拓郎
2回戦敗退 鈴木 凜
伊藤 慧

- 女子団体戦
2回戦 vs 長岡向陵
3-0
3回戦 vs 新潟西
2-0
4回戦 vs 新潟
2-1
準決勝 vs 新潟第一
0-2
3位決定戦 vs 長岡大手
0-2
(4位となり、北信越大会に出場)
- 《第52回北信越高等学校テニス選手権大会》 6/16、17
南魚沼市大原運動公園テニスコート
女子団体戦
1回戦敗退 vs 仁愛女子
0-2
- 《国民体育大会テニス競技会新潟県選考大会》 7/7、8 南魚沼市 大原運動公園テニスコート
男子シングルス
1回戦敗退 伊藤 慧
樋口湧大
女子シングルス
ベスト16 丸山明日香
- 《下越地区高校新進テニス大会》 8/1、2 新発田 新発田五十公野公園テニスコート
男子ダブルス
ベスト8 伊藤・樋口組
ベスト8 伊藤・本間組
男子シングルス
準優勝 伊藤 慧

- ベスト16 樋口湧大
ベスト8 伊藤 駿
《下越地区高校新進テニス大会》 8/1、2 胎内市 国際交流公園テニスコート
女子シングルス
優勝 丸山明日香
女子ダブルス
優勝 丸山明日香・内山真優
- 《全国選抜一次予選新潟・下越テニス大会》 8/20、21 新潟市江口テニスコート
男子団体戦
2回戦 vs 新潟
3-2
準々決勝 vs 東京学館
0-3
5/8位決定戦 vs 五泉
3-2
2-3
第6位 (県大会出場決定)
- 《全国選抜一次予選新潟・下越テニス大会》 8/20、21 新潟市庭球場
女子団体戦
1回戦 vs 万代
4-1
2回戦 vs 五泉
4-1
準決勝 vs 東京学館
3-1
決勝 vs 新潟第一
0-3
順位決定戦 vs 新発田
3-1
第2位

- 男子シングルス
第3位 樋口湧大
ベスト8 伊藤 慧
ベスト16 伊藤 駿
* 以上、県大会出場決定
- 《秋季下越地区テニス大会》 9/3、4 胎内市 国際交流公園テニスコート
女子ダブルス
ベスト4 丸山明日香・内山真優
女子シングルス
優勝 丸山明日香
ベスト16 内山真優
- 《新潟県選手権テニス大会》 9/15、16 南魚沼市 大原運動公園テニスコート
男子ダブルス
3回戦敗退 伊藤 慧・樋口湧大
2回戦敗退 伊藤 駿・本間智也
男子シングルス
3回戦敗退 樋口湧大
2回戦敗退 伊藤 慧
女子ダブルス
ベスト4 丸山明日香・内山真優
女子シングルス
ベスト8 丸山明日香
2回戦敗退 内山真優
- 《全国選抜新潟県テニス大会》 9/22、23 南魚沼市 大原運動公園テニスコート
男子団体戦
1回戦 vs 長岡大手
4-1
2回戦 vs 新潟第一
1-4
県ベスト8
女子団体戦
1回戦 vs 帝京長岡
5-0
2回戦 vs 五泉
2-3
県ベスト8

- ◎ハンドボール部
《平成30年度新潟県高等学校春季ハンドボール大会》 4/29、30 新潟江南高等学校
1回戦 新潟明訓 対 柏崎
17-12
準決勝 新潟明訓 対 長岡大手
21-13
決勝 新潟明訓 対 柏崎工業
18-19
(13分延長3-3 MTC 2-3)
準優勝
- 《第71回新潟県高等学校総合体育大会》
ハンドボール競技大会 兼 平成30年度
全国高等学校総合体育大会
新潟県予選会 6/2、3
上越市柿崎総合体育館
1回戦 新潟明訓 対 新潟江南
21-18
(15分延長6-3)
準決勝 新潟明訓 対 長岡大手
14-13
決勝 新潟明訓 対 柏崎工業
16-18
準優勝
- ◎バレーボール部
男子
《春季新潟地区バレーボール大会》 4/27 西総合SSS
1回戦 対 敬和学園高校
2-0
2回戦 対 東京学館新潟高校
0-2
- 《新潟県総合体育大会》
男子バレーボール大会 6/1
長岡市北部体育館
1回戦 対 三条高校
2-0
2回戦 対 新潟第一高校
0-2
- 《第71回全日本バレーボール高等学校

選手権大会 新潟県予選会
新潟地区予選 9/8・9
新潟県立巻高等学校

・男子
1回戦 新潟明訓 対 新潟商業高校
2回戦 新潟明訓 対 敬和学園高校
3回戦 新潟明訓 対 日本文理高校
2-0
(県選手権大会出場決定)

・新潟県高等学校春季新潟地区大会
4/29 新潟市
西総合スポーツセンター体育館

・女子
1回戦 新潟明訓 対 敬和学園高校
2回戦 新潟明訓 対 北越高校
0-2

・新潟県総合体育大会
女子バレーボール大会
5/27 加茂農林高校

・1回戦 新潟明訓 対 国際情報高校
0-2

・第70回全日本バレーボール
高等学校選手権大会
新潟県予選会新潟地区予選
9/8 巻高校

・女子
1回戦 新潟明訓 対 日本文理高校
1-2

◎卓球部
平成30年度春季新潟県卓球大会
5/5・6 鳥屋野総合体育館

・男子団体
3回戦敗退

・女子団体
2回戦敗退

・男子個人
3回戦敗退

八雲慎之助、南場寛人
2回戦敗退
村上晃一、幾野絃介
坂田幸紀
1回戦敗退
遠藤卓巳、池龍優翔
小柳瑞貴、内藤洗樹
・女子個人
3回戦敗退
木戸優歌
(ベスト32県大会出場)
2回戦敗退
竹田由希
1回戦敗退
佐藤楓梨、鈴木奏子

・平成30年度県総合体育大会
5/29・30 長岡市市民体育館

・男子ダブルス
2回戦敗退
八雲慎之助、南場寛人
・女子ダブルス
2回戦敗退
鈴木奏子、木戸優歌
佐藤楓梨、竹田由希
・女子シングルス
1回戦敗退
木戸優歌

◎バスケットボール部
平成30年度新潟県高等学校
春季地区体育大会新潟地区
バスケットボール大会 4/28・29
新潟市体育館鳥屋野総合体育館

・男子
1回戦 vs 東京学館新潟高校
72-60
2回戦 vs 新潟工業高校
53-74

・平成30年度新潟県高等学校
春季地区体育大会
新潟地区バスケットボール大会
4/29 新潟市総合体育館

・女子
1回戦 vs 北越
56-63

・第71回新潟県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技会 5/25・26
柏崎市総合体育館リッジプラザ上越

・女子
2回戦 vs 高田
3回戦 vs 新潟第一
4回戦 vs 長岡
49-70

・第71回新潟県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技会 5/31・6/1
五泉総合会館、胎内市総合体育館

・男子
1回戦 vs 松代高校
107-14
2回戦 vs 上越高校
100-70
3回戦 vs 新潟南高校
65-74

・第71回全国高等学校バスケットボール
選手権大会新潟県予選 一次ラウンド
7/29 長岡大手高校

・男子
1回戦 vs 国際情報高校
95-39
2回戦 vs 新潟青陵高校
73-54

◎ダンス部
第71回新潟県高等学校総合体育
大会 兼 第31回全日本高
校ダンスコンテスト(神戸)
予選会ダンスコンクール及び発表会
6/1・2 新潟県民会館

創作コンクール部門
優秀賞受賞

・第31回全日本高校・
大学ダンスフェスティバル(神戸)
8/7・10 神戸文化ホール

高校の部
準入賞(全国ベスト16)受賞

◎文化部
◎放送部
第65回NHK杯全国高校
放送コンテスト新潟県予選
6/13 新潟市音楽文化会館

・アナウンス部門
第2位 田崎詠里子
藤村 紗妃

・朗読部門
第3位 岩城日向子
第4位 平野杏采
第6位 齋藤美薫
・ラジオドキュメント部門
「コミュニケーション?」
(田崎詠里子を中心に制作)
テレビドキュメント部門
2位 「かつぶるろーど」
(渡辺望を中心に制作)

・第65回全国高等学校
放送コンテスト
7/23・26 NHKホール
受賞無し

・第42回全国高校総合文化祭
長野大会 8/9・10
岡谷市カノホール
受賞無し

◎吹奏楽部
第59回新潟県吹奏楽コンクール
8/4 上越文化会館

・課題曲Ⅳ
「コンサートマーチ『虹色
の未来へ』」
・自由曲
「バレエ組曲『ダフニスと
クロエ』」

金賞 西関東吹奏楽コン
クール(高等学校Aの部)へ
の出場権獲得(4年連続
5回目)

・第23回西関東吹奏楽コンクール
9/9 コラニー文化ホール
銅賞

◎書道部
《全日本高校生大学生書道展》
準優秀
保科美遥、荏澤未来
佳作
河内もも、福原 蒼

・第19回高校生国際美術展(書の部)
佳作
河内もも、福原 蒼

・第17回岐阜女子大学全国書道展
9/23・24 岐阜女子大学
大学賞(特別賞)

吉川夢葉、荏澤未来

◎写真部
第22回撮影大会 5/25・26
1日目・撮影会
新潟市中央区
じよいあす新潟会館
2日目・コンテスト
巻文化会館

参加者810名中
優秀賞(4位)12位相当
瀬戸 南
奨励賞(13位)30位相当
渡辺 珠緒
佐野 令佳、米田 陸
入選(31位)100位相当
井越めぐ、森本 武照
田巻真宙、田村 元希
高木胡南未、佐藤まりん
吉野 千里

《全国総文祭 信州総文祭
8/8・10 長野県安曇野市》
全体会…豊科公民館
撮影会…松本市内
受賞はありませんでした

・第32回写真専門部展 10/18・22
新潟県民会館ギャラリーA
二次審査会
写真専門部展 10/10・18
表彰式 10/19・22
参加校 49校
学校賞1位
共同制作部門
最優秀賞 Dチーム
優秀賞 Fチーム
個人部門
最優秀賞
漆山京佑(最上位2点)
優秀賞(3位)52位相当
入澤 莉、吉渡瑠璃奈
高木胡南未、渡辺珠緒
平成30年度 長野総文祭推薦作品
渡辺 珠緒
奨励賞(53位)102位相当
入澤莉音、吉荒瑠璃奈
佐藤まりん、坪谷実花
渡辺珠緒、堀 和美
遠藤 溪

◎将棋部
第27回新潟県高等学校
文化連盟将棋大会
5/12・13 高志中等教育学校

・男子団体
ベスト8
菊盛・須貝・天井
阿部・金田・塚野
・男子個人
3位
天井

◎囲碁部
平成30年度新潟県高等学校
文化連盟春季囲碁大会
5/20 県立新潟高等学校

・個人戦Aブロック
第3位 佐藤 優
三段認定

・個人戦Bブロック
第9位 佐藤 舞
個人戦Cブロック
第2位 岡田和樹
11級認定

◎演劇部
平成30年度新潟県高校総文祭
演劇部門 下越地区(A)
演劇発表会 9/15・16
「夢綴れよ若き君」
土田眞彩・作
優良賞

◎文芸部
《全国高等学校総合文化祭
8/7・10 佐久平交流センター、佐久大学》
散文部門 細貝龍生
詩部門 吉田早希 出場

《北信越文芸道場
9/8・9 メイワサンピア》
散文部門
吉田早希、吉田力生
諸橋 悠、洪木優太朗
詩部門
土田奈知、遠山秀也
出場

全国大会への道

剣道部

2018 全国高校総体に 出場して

剣道部顧問 玉虫 一憲

現在、剣道部は男子18名、女子6名の合計24名で活動をしています。今年のチームは、新チームになつてから地区大会、県大会、北信越大会と公式戦戦に男子団体・個人においてすべて優勝することができました。2年連続の選抜大会出場を果たし、全国で勝負するを目標に活動してきました。しかし、全国の壁はあまりにも高く初戦敗退し全国のレベルの高さを感じ悔しい思いをしました。「全国で勝つ」ことを目標としていただに非常に落ち込みました。そんな中で、生徒たちのインターハイにかける思いは並々ならぬものがありました。

6月に行われた新潟県高等学校体育大会（インターハイ予選）では、初日、男子個人戦で岡本成実が優勝、富樫拓海が準優勝、渡辺晃が3位とベスト4の3枠を明訓剣道部が占め、インターハイ出場枠の2つを独占しました。そして団体戦。決勝戦まで順当に勝ち進み、相手は選抜予選の決勝と同じ新潟商業高校。先鋒が引き分け、次鋒の田中彬登が2-1で勝利をおさめ、中堅・副将は引き分け。チームで1-0でリードしての大将戦。延長で大将の須田友紀が得意の面を決めて勝負あり。2年ぶりのインターハイ出場を決めました。もう一度、



全国の舞台で戦う切符を手に入れました。

いよいよ、インターハイ。会場は三重県営サンアリーナでした。7月末に福岡県で毎年開催される玉竜旗大会。この大会はインターハイの前哨戦ともいえる大会です。全国の強豪校と対戦し新潟県初となるベスト8となりました。インターハイに向けて大きな手応えを感じ、インターハイ本番を迎えました。

男子個人戦では、岡本・富樫の両選手は自分の力を精一杯に発揮したものの初戦で敗退しました。団

体戦では、予選リーグで昨年度優勝の宮崎県代表の高千穂高校と対戦し0-1で敗戦、岡山県代表の玉島高校と対戦し2-1で勝利したものの1勝1敗でリーグ突破はかないませんでした。改めて、全国大会の壁の高さ、全国で勝つことの難しさを痛感させられました。この悔しさを忘れずに今後精進していきたいと考えて

います。最後になりましたが、応援にかけつけていただいた中山校長先生、保護者のOB・OG諸先輩方、本当にありがとうございました。また、インターハイ出場に際しまして応援をくださった多くの方々にご場を借りて御礼を申し上げます。これからも新潟明訓高校剣道部を宜しくお願いします。

サッカー部

御礼「三年ぶり 七回目のインターハイ

サッカー部顧問 啗口 亮介

今年の全国高校総合体育大会サッカー大会は東海開催で、サッカー競技は三重県での開催となりました。今夏は全国的に異常な猛暑日が続き、事前調整が非常に難しく様々な面で苦慮することとなりました。しかし、同窓会の皆様方による物心両面に渡るご支援もあり、無事に大会を終える

ことができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。新潟県予選では、3年生を中心に二試合二試合勝ち上がりすることができました。決勝戦では多くの方々からのご声援のおかげで、選手達はより一層力を発揮することができ3年ぶり7回目のインターハイ出場を決め、全

国の舞台で活躍するチャンスを得ることができました。

6月30日、全国総体の組み合わせ抽選会が行われ、初戦の相手は北海道代表の北海高校となりました。予想通り三重の現地では毎日35℃を超える、その中での調整を行わなければならず、選手もマネージャーもスタッフも、この気候の中でも良い準備をしようと丸々となりをそれぞれのできることを精一杯行い、試合当日を迎えました。厳しい猛暑の中、新潟県から三重県まで駆け付けてくれた校長先生をはじめ学校関係者の方々、サッカー部保護者の皆様や本校サッカー部OBの方々、メンバーに選ばれなかった部員たちの応援により、遠方でありながらもホームゲームのような状態で試合をすることができました。終了のホイッスルまで観客席から声援をかけ続けて下さったことに心から感謝申し上げます。試合はPKから先制され、その後得意な形から1点を返し、再三相手ゴールに迫りましたが、再びこじ開ける

ことができず1対1のま
ま70分を終了し、U-18戦
の末初戦敗退という結果
に終わりました。初戦の
難しさをつくづく感じる
試合となり、とても悔し
い結果となってしまいまし
た。

これからチームは高校
サッカーの集大成ともいえ
る全国高校サッカー選手
権新潟県大会を迎えま
す。夏の県チャンピオン
として構えるのでは無く、
あくまでチャレンジする
気持ちをもつて予選に挑
みたいと思っております。
夏の全国の舞台で味わっ
た悔しさを取り返すため

に、残された時
間で精一杯準備を
し、勝ちきれ
るメンタリティを備
えていきたいと思
います。そして
勝つことだけを
目標とするので
はなく、明訓生
としての誇りと
自覚を常にもた
せられるよう指
導して参ります。
同窓会の方々に
おかれましては、
これまでと変わ
らぬ温かいご声
援とご支援をお
願いたします。



陸上競技部 インターハイに出場して

陸上競技部 主将 土屋篤志

今年度のインターハイは
三重県伊勢市で行われ、
本校陸上競技部からは九
種目二十名が出場してき
ました。

私たちは昨年度、四年
間にわたって継続してき

た「インターハイの連続入
賞」を途絶えさせてしま
い、そのリベンジを果たす
べく、歴代の先輩方のよ
うに全国の舞台で活躍す
ることを目標に努力して
きました。その甲斐あつて

本校陸上競技部としては
今回で四回目となる男女
のリレー四つ全でのイン
ターハイ出場権を獲得し、
近年の中でも大勢でのイン
ターハイの出場を実現す
ることができました。

しかし、北信越大会か
らインターハイまでの期間
に主力メンバーの怪我が相
次ぎ、ベストなコンディショ
ンでインターハイを迎える
ことができませんでした。
特に集大成となるインター
ハイ前は速いキレのある動

きができるようになる一方
で、怪我をする可能性が
高まるということをチーム
全員が身をもつて痛感す
ることになりました。そ
の結果、全ての種目が予
選敗退となってしまいまし
た。入賞を狙える種目
もいくつかあったので、こ
の結果は私たちにとって、
本当に悔しいものでした。
全国のライバルとなってい
る強豪校はインターハイで
自己ベストをマークしてい
る選手も多くおり、「イン
ターハイ」に対する懸け
る思いやピーキングなど、
私たちが負けていたこと
を思い知らされました。

しかしながら、今年の
チームの良かった点もあり
ます。それは、学年の壁
がなく、仲が良かったとこ
ろです。普段は笑いが絶
えず、やる時はやるといっ
た雰囲気があり、お互い
に励まし合いながら、「イン
ターハイ」という誰も
が憧れる舞台に多くの部
員が出場することができ
ました。これは出場した
部員だけではなく、出場
できなかった部員の絶大
なる支えがあったからこそ
だと思えます。また、今
大会は二年生が数多く

出場し、九名
の後輩選手が
インターハイ
を経験しまし
た。来年度は
このインターハ
イでの経験を
活かし、お互
いに高め合いな
がら、インター
ハイでの入賞、
さらに優勝を
目指して努力
していつてもら
いたいです。

最後に、私
たちを日々指
導してくださ
り、「インター
ハイ」という
素晴らしい舞
台に導いてくださった金子
先生、深瀧先生をはじめ、
本陸上競技部に関わって
くださった先生方、支え
ました。



ダンス部 「全国の壁」

ダンス部主将 3年 多賀愛華

私たちダンス部は、8月
7日、10日に行われた第
31回全日本高校・大学ダ

ンスフェスティバル(神戸)
において、作品「Theater
—劇場空間を覆せ—」を

てくださった保護者の方々
に心から感謝しています。
本当にありがとうございました。



上演し、ベスト16に値する準入賞を受賞することができました。

この作品は、演劇の手法として用いられる「見えない演劇」という言葉からインスピレーションを受け、舞台上に劇場空間を作ろうという発想から、作品を創作し始めました。作品を作る過程で、「舞台が主役、観客は受身」という劇場空間の常識に、私たちは囚われているのではないかと疑問を抱くようになりました。もしも、観客が席から立ち上がり客席を走り回ったら、動くはずのない客席が空中に浮かんだら。劇場空間で起きたら

面白い出来事を話し合う中で、私たちの想像はどんどん膨らんできました。現実では起こりえないことさえも、私たちの遊び心に満ちた想像によって、世界はどこまでも面白いものになる。このように考え始めたことをきっかけに、「想像力によって創り出される劇場空間」を作品の核として深めて

いきました。劇場空間を表すために、ブザー音や客席の象徴として赤い椅子を用いました。椅子を多様に扱い、自由な創造を築きむ姿には、ルールや枠組みに囚われず、物事と向き合いたいという意志を重ねました。今回の作品を表現する私たち自身が、遊び心や自由な発想を持ち、創造を築きむことで、見ている人の心を動かすような作品に仕上げるのができたと感じています。

6月の県総体では、目標としていた最優秀賞に二歩届かず悔しい思いをしたため、全国の舞台では、必ずリベンジしようと意気

込み、日々練習に励んできました。しかし、全国大会でも入賞は果たしたものの、自分たちの満足できる結果は得られませんでした。作品やチームの課題と正面から向き合い、仕上げることができたという自信があつた分、悔しい思いが強く残りましたが、全国の厳しさを改めて感じた瞬間でもありました。受賞できることが当たり前ではない。先輩方が残してくださった功績や恵まれた環境で練習ができる私たちだからこそ、感じるこの悔しさを糧に、前へ、

放送部 全国大会に出場して

放送部 顧問 梅田愛子

放送部はこの夏、二つの全国大会に出場しました。

一つは、第四十二回全国高等学校総合文化祭長野大会です。この大会には、朗読部門より三年生の高橋柚衣が、ア

上へと成長するしかありません。3年生は自分たちの進路実現へ、1・2年生は新チームとして、それぞれが新しいスタートを切り、日々精進していきたいと思っています。

私たちの活動の裏には、沢山の方々の支えがあります。ご指導くださる先生方や卒業生の先輩方、一緒に戦ってくれる家族や友人、そして応援してくださる地域の皆様など全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのご声援、ありがとうございます。今後も新潟明訓高校ダンス部を宜しく願います。

三年生の齋藤美薫・二年生の岩城日向子・二年生の平野杏采が、アナウンス部門より二年生の田崎詠里子・藤村紗妃が、テレビドキュメント部門より三年生の渡辺望を中心に制作した『カップルロード』が、ラジオドキュメント部門より二年生の田崎詠里子を中心に制作した『コミュ力(りょく)ってなに?』が会場しました。

放課後だけでなく、朝や昼休みにも練習を重ねた部員たちでしたが、全国の壁は高く、今年は惜しくも上位入賞を果たすことができませんでした。

やれることを精一杯やり切つて臨み、それでも上には上がいるということを思い知った、ほろ苦い全国大会となりました。しかし、得たものは大きかったはずです。練習中、自らの理想とする表現まで到達できず悔し涙を止められなかったこ



と、そんな仲間が一步でも前に進めるように何とか勇気づけようとしたこと、ああでもないこうでもないと言いながら一緒に悩んで作品を創り上げてきた時間は、部員たちにとってかけがえのない財産となったことでしょう。

現在、部員は二年生十名、二年生五名の計十五名。皆が、大会出場に向けた練習に励むのはもちろん、頼りになる裏方として学校行事を支える「奉仕」と「協力」の精神に溢れる部員たちです。大会や行事を通して得た気づきを、よりいっ

そう部員同士で共有し、チーム明訓として、技術と表現力を高めていってほしいと思います。

最後になりましたが、全国大会出場に際しまして多くの方々からご支援をいただきましたこと、

写真部

みやぎ総文祭に参加して

写真部顧問 森本康裕

昨年度の「第三十二回専門部展」で当時二年生の渡邊珠緒が全国総文祭への出品者として推薦を受けました。今回は三年生の女子部員一名も同伴参加者として、長野県安曇野市を訪れてきました。

写真部門は八月八日より八月十日まで、長野県安曇野市の豊科公民館をメイン会場に開催されました。猛暑の中、一泊二日の強行日程で、体力を消耗しながらも、有意義な経験をすることができました。

初日は、他県の出品者と直接触れあう生徒

心より御礼申し上げます。伝統ある明訓高校放送部の名を全国に響かせることができるよう、感謝の気持ちを忘れずにこれからも精進して参ります。

交流会を通して良き思い出作りができました。二日目には、松本市内で開催された現地撮影会では、朝の涼しい時間帯に短時間参加しました。快晴のもと、国宝松本城に向かい、まだ来場者が少ないうちに、静かで心地よい時間を過ごすことができました。その後、この春卒業したばかりの、写真部の先輩二名が合流し、全国から出品された作品を鑑賞しました。写真のもつ豊かな表現力に圧倒されつつ、お互いの感想を伝え合い、さらに深く作品を味わう様子が見られました。



参加者は二名とも三年生のため、二日間の日程での参加となりましたが、「もっとじっくり作品を鑑賞したい。」とか、「ご当地グルメを堪能し

たい。」と発言を繰り返していました。このような機会が得られたのも家族や友人をはじめ多くの方々からの応援や協力があったからこそです。大変ありがとうございました。感謝の気持ちを大切に、今後作品作りに励んでいきたいと思えます。今後とも写真部の活動にご理解とご協力をお願い致します。

文芸部

2018信州総文祭を振り返って

文芸部部长 吉田早希

文芸部は昨年度「新潟県高等学校文芸コンクール」において、散文部門・細貝龍生(3年)が入選、詩部門・吉田早希(2年)が奨励賞に入賞を果たしました。

その結果、平成30年8月7日〜10日の4日間、長野県佐久市の佐久平交流センター、および佐久大学で行われた「第42回全国高等学校総合文化祭」に県の

代表として出場することができました。これは亀田に移転してから2年振り4回目の参加になります。

文芸研修では追分・小諸方面に訪れ、堀辰雄・島崎藤村・高浜虚子らの旧宅や記念館、追分宿郷土館や浅間神社の芭蕉句碑などを巡りました。特に印象深いのは「堀辰雄記念館」で、辰雄が多恵子夫人と交わした自筆の書簡、芥川龍之介からの書簡などが貴重な資料が展示されていました。堀辰雄と夫人が結婚を決意するまでの細かな心情や、芥川の堀辰雄に対する愛情が分かるもので、大変興味深く見ることができました。

部門別研修では、小説家の小嶋陽太郎さんや詩人の杉本真維子さんらを招き、それぞれの部門で創作研究に取り組みしました。最終日には歌人である穂村弘さんの記念講演会に参加し、現代短歌の面白さや奥深さを味わうなど新鮮

な発見がありました。全国の文学を志す仲間と交流し、直接ことばを交わすことで多くの刺激を受けました。またプロの作家として活躍する諸先生方のお話を聞き、指導を受けることで、これまで以上の創作意欲や目標を抱くことができました。

こうした有意義な機会を与えて頂きましたのも、先生方をはじめとする多くの皆さまのご協力とお力添えがあつてのことであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当に有り難うございました。部員一同、今後ますます創作活動に邁進して参りたいと思います。



終身会費納入者御芳名

（敬称略）

平成三十年八月三十一日現在

平成30年卒

全
日
制
第
69
回

1組
(44名)

戸 辻 高 高 高 曾 曾 鈴 白 三 齋 小 小 黒 栗 熊 金 加 大 歌 浮 伊 生 荒
枝 本 橋 橋 澤 根 我 木 井 林 藤 湊 林 田 原 木 子 藤 川 代 須 藤 南 井
莉 咲 真 幸 直 圭 柊 啓 瑛 剛 瑞 拓 彩 ひ 拓 遥 若 菜 梨 柚 蒼
子 千 洋 大 希 太 太 予 唯 準 花 光 大 樹 眞 乃 かる 海 史 菜 月 乃 彩 葉 樹

小田彩海	岡田千穂	岩本彩良	井上愛理	井口亜海	五十嵐智哉	五十嵐葵	青木四郎	2組 (41名)	渡邊由佳	渡邊はるか	渡邊早織	興口里咲	山崎文香	山際沙也香	山際溪太	柳満優	村山拓海	牧野航太	前田瑠美	逸見穂乃香	笛木志歩	羽田友輝	芳賀柚月	野崎夏苗	二平麻衣	那須清夏	中村観夏	時田佑生
------	------	------	------	------	-------	------	------	-------------	------	-------	------	------	------	-------	------	-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------

南丸本細星古古藤成中高高関関鈴杉新白佐佐佐佐櫻齋小小小工萱風
山間道嶋川井田山橋澤野根木本村井藤藤藤藤井藤林泉泉藤森間
和莉愛敬凜桂達柚晴知かりん紗優さくら詩遙さくら芽風響愛は汐柁海有拓
花葉佳子結太子生郎月生也彩花花織遙生香祥花理な理弥開晟紀実

渡邊	吉田	矢部	3組 (39名)	太田	大日方	金子	河村	木口	木山	久代	國兼	熊木	黒川	小林	権	近藤	笹川	佐藤	須藤	関根	関根	高橋	玉木	玉木	池主	中野	中山	二国	西山	野村	長谷川	番場	平田	廣川	藤井	布施
姫	桃	望		優	璃子	竜也	宏香	裕梨佳	秀	蓮	沙也香	眞優	侑右	可歩	五	炯	祈	美帆	奈帆	光祐	くるみ	陵太郎	健太郎	海斗	純平	聖平	ひなた	福久実	健太	愛真	夏	湧也	瑤	拓也	花	瞬

松	星	保	藤	根	館	高	園	芹	須	鈴	鈴	塩	佐	佐	櫻	坂	齋	小	小	後	小	菅	折	小	大	岩	井	稲	秋	4組	吉	吉	結	山	村	村
尾	野	坂	井	津		橋	辺	川	田	木	木	谷	藤	藤	井	上	藤	日向	林	藤	池	野	井	野	塚	崎	上	村	山	(37名)	原	澤	城	崎	山	上
将	紗	菜	雄	優	みどり	真	彩	武	皐	悠	颯	美	遼	千	爽	莉	真	紗	優	玲		拓	順	泰	稜	貴	悠		理	末	胡	拓	之	友	佳	魁
太	来	摘	太	花		衣	夏	貴	耀	人	大	星	平	太	一	奈	緒	英	佳	苑	毅	真	瑠	斗	介	文	己	啓	花	泰	桃	海	乃	子		

水野	源川	諸橋	山田	山本	横山	渡邊	5組 (38名)		淺川	安中	五十嵐	五十嵐	伊藤	井上	今井	卯田	遠藤	大澤	大須賀	小川	金子	上村	上村	熊倉	小池	古田嶋	齋藤	坂内	佐藤	清水	田井	竹村	田澤	千葉	土屋	坪野	藤	藤
茜	優	達也	有宇斗	駿	英	愛理			遥	舞	美樹	裕香	大騎	絢流	美伶	里	智朗	乃亞	美由	さくら	康仁	菜生	瑞希	花	哉	愛	龍太郎	雄太	友里	花	聖	咲	紀	謙	大	也	玲	花

水口晴也	三木太志	堀川和佳奈	堀川詩汰	福留こなみ	平井大貴	野崎友葵	野内真駿	内藤楽緒	舘美帆	高橋歩香	高橋円	佐藤龍太	坂井千和	酒井康気	近藤美月	桑野彩香	亀田翔	金井武尊	片桐奈香	小川真奈	遠藤有香	伊藤新幹	石倉大幹	石川結理	足高陽南	相田理人	6組 (29名)	渡部紗英	吉田真綾	森下みなみ	目黒日裕	堀野愛美	星野黎衣	藤澤直毅	羽田瑠依	長谷川早紀
------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------

伊藤	石川	伊藤	山崎	山崎	堀崎	藤岡	藤井	長谷川	橋本	西本	土田	田中	高橋	高杉	諏佐	柴野	澤田	齋藤	小林	小林	小鍛冶	神成	川又	小竹	大嶋	大越	氏田	伊藤	石動	7組 (30名)	山村	
皓紀	諒	大	陸	愛	歩	和	美	あ	貫	奈	生	哉	奈	旺	穂	菜	奈	健	太	梨	佑	亮	晴	聖	航	麻	玲	光	萌	徹	志	保

入山慶斗	大薮和馬	岡崎真子	小川恵	加賀川梨恵	加藤ゆう杜	河合真輝	河井優衣	熊倉正勝	小池拓真	小林天晴	酒井大貴	桜井温大	捧井晴海	佐藤滉輔	佐藤亮太	椎谷祐太	重山悠貴	清水祐伸	須佐俊紀	曾我俊楓	高橋賢太	田代蓮太郎	戸前春菜	富田裕大	富田龍雅	部田隼平	中川大輝	中村悠暉	原田湧太	藤井海都	藤田凌央	藤田流菜	藤野朋哉	本間誠太郎	本間雄飛	三富雄俊	若林理紗
------	------	------	-----	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------

9組 (39名)	荒川 さくら	池花 姫	井越 凜	大竹 涼	小野 桜子	金子 瑞穂	工藤 なる	小杉 卓万	後野 有紗	小林 紗也	小森 舜平	齋藤 弥平	酒井 尚子	笹岡 真次	笹川 桜子	佐藤 遥香	佐藤 魅実	柴田 龍	澁谷 歩	立川 圭悟	田中 一平	田中 勇輝	土田 媛華	傳田 こなつ	長岡 伊織	名古屋 美月	波形 ひなの	野島 慎人	長谷川 祐衣	樋口 芽生	真島 康誉	松尾 俊之介	山本 周太郎	山本 ひなた	吉田 万柚子	吉成 美紀	鷲塚 隆平
-------------	--------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	-------

